

2. 火山の概況

(平成 16 年 7 月 8 日 ~ 平成 16 年 7 月 14 日)

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

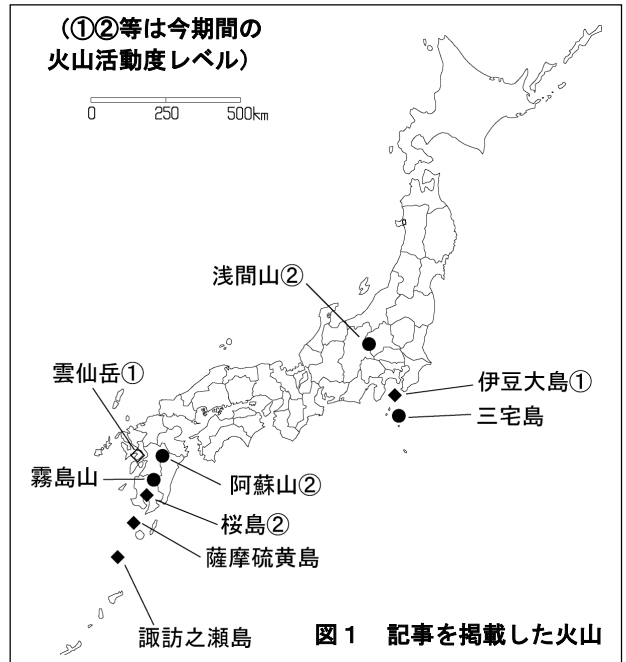


表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号						
29	7/8-7/14	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◆	●		●	◆		◆
28	7/1-7/7	②	●	①	●	②	●	①	◇	②	▲	●		●	●		▲
27	6/24-6/30	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	●	●		●	●		▲
26	6/17-6/23	②	●	①	●	②	●	①	◇	②	▲	●		●	●		◆
25	6/10-6/16	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●	▲	◆	▲

注 1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変わった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [微動・噴煙・熱] レベル 2 (やや活発な火山活動)**

振幅の小さい地震は、昨年 6 月末頃からやや多く観測されるようになっていたが、今期間は 1 日あたり 11~23 回と減少した。火山性微動は、振幅の小さいものが 1 回観測された(前期間も 1 回)。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上 400m まで上がるのが観測された。

赤外カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

◆ **伊豆大島 レベル 1 (静穏な火山活動)**

7 月 2 日(前期間)に地震が多発した島の北西沖の領域では、今期間の前半も地震が散発的に発生したが、11 日以降は観測されていない。噴煙活動、地殻変動等、その他の活動に特に変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 600m であった。

振幅の小さい、やや低周波の地震は、1 日あたり 29~41 回とやや多い状態で推移した。

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル 2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

9 日と 14 日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰

色、湯量は約3割で、湯だまりの表面温度の最高は71℃（前期間74℃）、火口壁の最高温度は322℃（前期間315℃）と依然高温状態にあった。湯量は減少傾向にある。また、土砂噴出が湯だまりの中央部、南側及びその他数箇所で見られ、高さの最高は約5mであった。南西側の噴気孔からは勢いよく噴気が噴出していた。

期間中、火山性連続微動が継続した。また、孤立型微動は今期間461回発生した（前期間は256回）。噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m（前期間400m）であった。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ **雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。9日及び13～14日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上100mであった。

◆ **桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）**

期間中、噴火はなかった（前期間は爆発的噴火1回）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）では降灰は観測されなかった（前期間は降灰量0g/m²（1平方メートルあたり0.5g未満の微量）を観測）。

◆ **薩摩硫黄島**

期間中、噴火は発生しなかった。地震活動も特に変化はなく、火山性微動は発生しなかった。

◆ **諏訪之瀬島**

7月6日（前期間）以降噴火の発生はなく、地震活動も低調で、火山性微動は発生しなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第377号	8日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	↓（1日2回発表）	↓	
	火山観測情報第390号	14日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第36号	9日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態）。レベルは2。